

# ちい おん が かわ 「小さな遠賀川」

みず い き い き だい さく せん  
水 い き い き 大 作 戦

あなたの家も、流れの一部です

キラッキラ!  
やすらぎ、きよらか  
遠賀川



おん が かわ おお かわ  
遠賀川は、大きな川です。

うま み やま ふ あめ みず  
馬見山に降った雨の水、

ひ こ やま ふ あめ みず  
英彦山に降った雨の水、

いぬ なき やま ふ あめ みず  
犬鳴山に降った雨の水、

ぜんぶの <sup>みず</sup>水が <sup>おん が かわ</sup>遠賀川に <sup>あつ</sup>集まって、

ゆったりと <sup>ひびき なが</sup>響灘に <sup>なが</sup>流れ込んでいます。



●遠賀川は、福岡県馬見山に源を発し、穂波川、彦山川、犬鳴川、笹尾川などと合流しながら、直方平野を流れて響灘に注ぐ、全長61km、流域面積1,026平方キロの一級河川です。その水は、かんがい用水、水道用水、工業用水として、6市25町1村、約67万人（平成13年度）の暮らしに大きくかかわっています。



あなたの家も、遠賀川だって、知っていましたか？



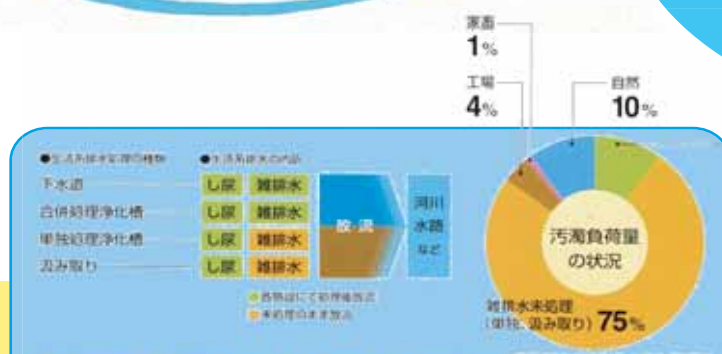
お茶を入れたり、ごはんをつくったりするために台所の水道から出てくる水は、遠賀川からきた水です。

そして、お皿を洗ったり、お風呂に入ったりするたびに、流しや洗面所から出ていく水も、遠賀川にかえていく水です。

住まいの排水口から流れ出た水が、そのまま遠賀川に流れ込んでいるところもあります。そこでは、生活排水のよごれが、そのまま川の水のよごれになってしまいます。



下流では、その水を、まただれかが使っています。飲んだり、食べたり、生活に使えるようにするために、浄水場で、よごれた水をきれいにして安全な水にします。そのためには、消毒の薬をたくさんいれなければなりません。だれかが使って、流した水をだれかが飲んでいるわけです。その、だれかさんは、あなたかもしれません。あなたのお友だちかもしれません。



遠賀川水系に暮らす人々が、生活のなかで使い、よこした水は、ふたたび遠賀川に戻ります。洗剤や食べもののかす、お米のとぎ汁などよごれた水が大量に流れ込むと、それをえさにするプランクトンが発生します。これが富栄養化現象です。また、よごれた水を、水道水として使うためには、たくさんの薬をいれて消毒しなければなりません。遠賀川流域では、全体のおよそ半数の家庭で、生活排水をそのまま川に流しています。家庭で水をよごすことが、直接、川をよごすことにつながっているのです。

こんな川にしたいな ● 遠賀川下流  
遠賀川水系の水が集まってくる下流には、多くの人が訪れ、水利用も盛んです。だれもが快適に水とふれあって楽しめる川、水源として安心できる水の流れる川にしたいですね。そんな川にはテナガエビやチクゼンハゼ、ツチフキなどもよく見られるようになるでしょう。

<関係する市区町村>  
北九州市若松区、北九州市八幡西区、芦屋町、岡垣町、遠賀町、水巻町、中間市、鞍手町、直方市  
ツチフキ



こんな川にしたいな ● 遠賀川中流・上流  
田園が広がる中にゆったりと流れる遠賀川。これからも、より多くの人が憩いを感じる川、そして水源として安心できる水の流れる川にしたいですね。そうなれば、カマツカなどの魚をはじめ、サケの遡上ももっと見られるようになるでしょう。

<関係する市区町村>  
直方市、小竹町、穎田町、飯塚市、庄内町、穂波町、稲築町、山田市、碓井町、嘉穂町  
カマツカ



こんな川にしたいな ● 犬鳴川  
山と森に囲まれ、もともと清らかな水が流れていた犬鳴川。これからも、ホタルが飛び交い、川泳ぎや水遊びのできる美しい川を保全していきたいものです。オヤニラミ、タナゴなど、いまでは貴重となった魚たちにとって暮らしやすいところでありつづけてほしいですね。

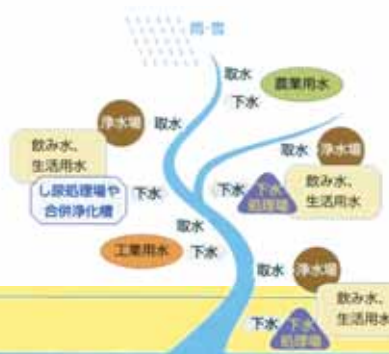
<関係する市区町村>  
直方市、宮田町、若宮町、飯塚市  
オヤニラミ



大きな川をきれいにするために、  
あなたの家の、小さな遠賀川を  
きれいにする工夫をしませんか。

川の水がきれいになったら、  
中に入って遊べます。  
いろんな生きものにも出会えます。  
そうになったら、すてきですね。

でも、  
ちょっと気をつけるだけで、  
川の水はきれいにすることができます。  
たとえば、食事はいつでも食べきり、飲みきって、  
食べかすや残り汁を流さないようにする。  
それだけのことで、いいんです。



上流から下流まで、たくさんの人が暮らす遠賀川流域では、飲み水や生活のための水道水や、農業に使うかんがい用水、工場で使う工業用水などのために、川の水を利用しています。  
上流で取水され、水道水として使われた水は、下水として川に流れ込みます。その水は、消毒されて、さらに下流でふたたび水道水として利用されます。こうしたサイクルが、海に流れ込むまでのあいだに、なんども繰り返されているのです。

こんな川にしたいな ● 穂波川  
住宅地が増えて、水質悪化が心配される穂波川。水がよごれてしまうと、このあたりにすんでいた、インドジョウ、スナヤスメなど貴重な魚がすめなくなってしまう。川に入って水遊びができるような、今のままの清らかな流れを、これからも守っていききたいものです。

<関係する市区町村>  
飯塚市、穂波町、筑穂町、  
桂川町、嘉穂町、夜須町

インドジョウ



こんな川にしたいな ● 彦山川  
彦山川は、自然豊かな流れと、都市を流れる川という2つの顔を持っています。これから川で泳いだり、快適に水とふれあうことのできる川を保全していきたいものです。上流にはアカザやサワガニ、中下流にはアユがすみやすい川にしていきたいです。

<関係する市区町村>  
金田町、田川市、糸田町、  
添田町、方城町、大任町、  
香春町、赤村、赤池町、直方市

アカザ



こんな川にしたいな ● 中元寺川  
遠賀川水系のなかでも、とくに生活排水の影響の大きい中元寺川。川にふれあいたくなるような魅力ある川にしていきたいですね。水をきれいにするだけで、ドンコやカワムツなどのすがたをもっと見ることができるようになるはずですよ。

<関係する市区町村>  
田川市、大任町、添田町、  
川崎町、糸田町

ドンコ



# お家でできる川の水をきれいにする工夫

ちょっと気をつけるだけで、だれにでも川の水をきれいにする暮らしができます。  
 ふだんの生活のなかで気軽にできる、簡単なことばかりです。



## 食器の油よごれは

洗う前に、ゴムべらや不要なチラシを使って落としておくと、使う水や洗剤の量が少なくて済みます。



## 天ぷらなどの食用油は

市販されている油固化剤を使ったり、古新聞やぼろ布を入れた牛乳パックに注ぐなどして、燃えるゴミとして出しましょう。



## 小さな生ゴミは

流しの三角コーナーなどに目の細かい水切り袋をつけて、茶がらやごはんつぶなど、細かい生ゴミまでキャッチしましょう。



## 飲みものに残った煮汁は

飲み残しをそのまま流すことも、川や海の水をよごします。おみそ汁なども、必要な量だけ作り、飲みきり、食べきるようにしましょう。

## 食器洗い機は

節水型のものや、洗剤をあまり使わなくてよいものを選び、機能を活用しましょう。



## お米のとぎ汁は

毎日のように捨てられるお米のとぎ汁も、川や海の水をよごす原因のひとつ。とぎ汁は庭や鉢植え、プランターなどの植物にあげましょう。無洗米を利用するのもよいでしょう。



## ふだんの洗いものや掃除は

食器洗いや掃除などに、洗剤を使わなくてもよごれのおちる、アクリルタワシなどのエコグッズを活用しましょう。



## 台所洗剤は

たくさん使ったからといって、洗浄力が強くなるわけではありません。少量を水でうすめて利用しましょう。



## 洗剤やせっけんは

台所やお風呂、トイレなど家庭で使う洗剤やせっけんは、環境に対する負担の少ないものを選んで使しましょう。

遠賀川水系清流ルネッサンス・「キラッキラ! やすらぎ、きよらか遠賀川」を実現するために...

遠賀川をよごしている主な要因は、家庭からの生活排水と、川に捨てられたたくさんのゴミ。

住民一人ひとりの川をきれいにする気持ちと、積極的なとりくみがなければ、川はきれいになりません。

水源地から河口までの、住民と市町村・県・国の連携も大切です。毎年10月は、遠賀川の美化月間です。